

- 問1 第8代将軍・徳川吉宗が行った「享保の改革」において、幕府の財政を立て直すために採用された、年貢の徴収に関する方針として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った | 2. 年貢をすべて金納に切り替え、米の価格変動が財政に与える影響を排除した | 3. 飢饉対策を優先するため、豊作の年でも年貢の割合を低く抑えるよう命じた | 4. 農民の負担を軽減するため、商人の利益に課税する仕組みを優先した |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問2 江戸時代の近畿地方において、綿花の生産量が飛躍的に向上した背景にある経済的な仕組みとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府が全国の農民に対し、イワシを主原料とした肥料を無償で配給したこと。 | 2. 鎖国政策により海外から安価な綿花が流入しなくなったため、肥料を使わずに増産したこと。 | 3. 遠隔地の漁村で加工された干鰯などの金肥を、都市の商人を通じて購入し投入したこと。 | 4. 全ての農家で二毛作を禁止し、綿花の栽培だけに土地の栄養を集中させたこと。 |
|--|---|---|---|
- 問3 江戸時代、朝鮮から将軍の代替わりなどを祝うために派遣された使節を「朝鮮通信使」といいます。漢城（ソウル）を出発して江戸に至るまでのこの使節団の移動経路について、地理的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 釜山から対馬を経て下関に至り、そこから瀬戸内海を船で進んで大坂・京都を経由し、東海道などの五街道を通して江戸へ向かった。 | 2. 釜山から対馬を経由せずに直接長崎へ入り、そこから九州を横断して関門海峡を渡り、太平洋側の黒潮を利用して船で江戸へ向かった。 | 3. 琉球王国を経由して薩摩に入り、長崎の出島で幕府の許可を得た後、九州から山陽道を通り、中山道を経由して江戸へ向かった。 | 4. 朝鮮半島の北部から日本海を横断して新潟に上陸し、北陸道を通して江戸へ向かうとともに、菱垣廻船などの物資運搬船と並走した。 |
|---|--|---|---|
- 問4 1825年に江戸幕府が「異国船打払令」を出した背景とその内容に関する説明として、当時の国際情勢と幕府の対応をふまえたものを選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 捕鯨や通商を求めて接近する外国船が増えたため、長崎に来航する清・オランダ以外の船を発見次第、砲撃して撃退するよう命じた。 | 2. イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを知り、外国との武力衝突を避けるために、燃料や食糧を与えて速やかに帰帆させるよう命じた。 | 3. ペリーが率いる艦隊が来航したことを受け、これまでの鎖国政策をさらに強化し、一切の外国船の入国を禁止するために発令した。 | 4. ロシアの南下政策に対抗するため、蝦夷地を幕府の直轄地とし、樺太や千島列島に近づくすべての船を拿捕するよう命じた。 |
|---|---|--|---|
- 問5 江戸時代の幕府政治の変遷について述べた記述において、5代将軍徳川綱吉が、それまでの武力による威圧的な統治から、儒学（朱子学）などの学問や礼節を重んじることで社会の秩序を保とうとした統治方針を指す言葉として適切なものを選びなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 文治政治 | 2. 執権政治 | 3. 武断政治 | 4. 親政 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問6 17世紀前半、江戸幕府がキリスト教の禁止と貿易の統制を主な目的として、外国との交流を段階的に制限した一連の対外政策を何と呼びますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|----------|---------|
| 1. 身分統制 | 2. 鎖国 | 3. 武家諸法度 | 4. 参勤交代 |
|---------|-------|----------|---------|
- 問7 日本の伝統文化が成立・大成した時期と、それに関わった人物や文化の組み合わせについて、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代） | 2. 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代） | 3. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代） | 4. 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代） |
|---|---|---|---|
- 問8 江戸時代の商業政策において、田沼意次がとった政策と、天保の改革における水野忠邦の政策の対比として正しい記述はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 田沼意次は鎖国を強化するために株仲間を制限したが、水野忠邦は開国に備えて株仲間を保護した。 | 2. 田沼意次は物価高騰を抑えるために株仲間を解散したが、水野忠邦は財政再建のために株仲間を復活させた。 | 3. 田沼意次は株仲間を奨励して税を徴収したが、水野忠邦は物価抑制のために株仲間を解散させた。 | 4. 田沼意次は農業を重視して株仲間を禁止したが、水野忠邦は商業を重視して株仲間に独占権を与えた。 |
|--|--|---|---|
- 問9 江戸時代の大坂は「天下の台所」と称され、日本の経済を支える重要な役割を果たしました。この当時の大坂の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 19世紀前半の化政文化の中心地として、浮世絵や歌舞伎などの新しい町人文化が最も盛んに発信された。 | 2. 長崎の出島とともに、幕府が唯一認めた海外貿易の窓口として、異国の文化が流入する拠点となった。 | 3. 日米和親条約の締結に伴い、海外に向けた開港場の一つに選ばれ、外国の商館が立ち並んだ。 | 4. 全国の商品が蔵屋敷に集まり、そこから江戸などの大消費地へ海上交通などを用いて運ばれた。 |
|---|---|---|--|
- 問10 江戸時代に北前船が北海道（当時は蝦夷地）から本州へ運んだ物資のうち、当時の日本の農業生産力を高める上で重要な役割を果たしたものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 肥料となるニシンの骨粕（しめかす） | 2. 年貢として納められる米 | 3. 鉄砲の原料となる鉄鉱石 | 4. 陶磁器の原料となる陶土 |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
- 問11 老中・水野忠邦が実施した天保の改革の内容として、対外的な「薪水給与令」の布告とあわせて行われた国内政策として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 大名の負担を軽減するために、参勤交代を3年に1回へと大幅に緩和した | 2. 商業を活性化させて税収を増やすために、株仲間の結成を積極的に奨励した | 3. 物価を下げるために、問屋商人の組織である株仲間の解散を命じた | 4. 極端な動物愛護を強いることで社会の風紀を正そうと、生類憐みの令を出した |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
- 問12 城下町において、城の周囲を堀で囲んだり、武士の住む場所（武家地）と町人の住む場所（町人地）を厳格に区分けたりした背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 城下町全体の衛生環境を保つために、生活用水を確保する堀の近くには武士以外の居住を禁止するため | 2. 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防衛力を高めるため | 3. 参勤交代で江戸へ向かう際、大名の行列が町人地の中心を通ることで、幕府の権威を農民に広く示すため | 4. 町人地を城から遠ざけることで、商工業者による一揆が起きた際に城への被害を最小限に抑えるため |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った	吉宗の時代は、江戸時代を通じて幕府の年貢収入が非常に高い水準にありました。吉宗は「米将軍」と呼ばれるほど米による財政基盤を重視し、それまでの豊凶に応じて年貢率を決める「検見法」から、一定期間の平均収穫量をもとに年貢率を固定する「定免法」へ転換するなどして、確実な年貢収入を確保し、財政の再建を目指しました。
問2	答え 3 遠隔地の漁村で加工された干鰯などの金肥を、都市の商人を通じて購入し投入したこと。	商品作物の栽培は高い利益を生む一方、土地の養分を激しく消耗するため、大量の肥料を必要としました。この需要に応えたのが、干鰯に代表される「金肥」の流通です。漁村での加工、都市商人による流通、そして農村での購入という一連の経済サイクルが確立したことで、近畿地方などの先進地域では大規模な商品作物の生産が可能となりました。
問3	答え 1 釜山から対馬を経て下関に至り、そこから瀬戸内海を船で進んで大坂・京都を経由し、東海道などの五街道を通して江戸へ向かった。	朝鮮通信使は、対朝鮮外交の実務を担っていた対馬藩（宗氏）の案内により、釜山から対馬、下関を経て瀬戸内海を通り、大坂に上陸しました。その後、京都を経て幕府が整備した五街道の一つである東海道などを通り、将軍のいる江戸へと向かいました。この使節は将軍の代替わりや世継ぎの誕生を祝う目的で、江戸時代を通じて計12回派遣されました。
問4	答え 1 捕鯨や通商を求めて接近する外国船が増えたため、長崎に来航する清・オランダ以外の船を発見次第、砲撃して撃退するよう命じた。	19世紀初頭、北太平洋での捕鯨活動や東アジアへの進出を狙う欧米諸国の船が日本近海に現れるようになりました。幕府は伝統的な「鎖国」の法を守るため、1825年にこの強硬な法令を出しました。しかし、のちにイギリスがアヘン戦争で清を破ったという情報が伝わると、強硬策による戦争の危機を避けるため、1842年には方針を転換して燃料や水を与える「薪水給与令」を出すことになります。
問5	答え 1 文治政治	3代将軍徳川家光までの時代は、武力によって大名を厳しく統制する「武断政治」が行われていました。しかし、社会が安定するにつれて、5代将軍徳川綱吉は儒学を奨励し、武力ではなく道徳や学問によって世の中を治める「文治政治」への転換を進めました。これにより、武家諸法度の内容も道徳的な記述へと改められました。
問6	答え 2 鎖国	幕府はキリスト教の広がりや封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、また貿易による利益を独占するために、外国との窓口を長崎などの特定の場所に限定しました。1641年にオランダ商館が長崎の出島に移されたことで、この体制が完成したとされています。
問7	答え 1 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）	室町時代に足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥が能楽を大成させ、その後の安土桃山時代には千利休が茶の湯（わび茶）を完成させました。さらに江戸時代になると、近松門左衛門が脚本を手がけたことで、歌舞伎や人形浄瑠璃が庶民の娯楽として大きく発展しました。この時代の流れを把握することが重要です。
問8	答え 3 田沼意次は株仲間を奨励して税を徴収したが、水野忠邦は物価抑制のために株仲間を解散させた。	田沼意次の時代には、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうと、積極的に株仲間の結成を認め、そこから税（運上・冥加）を徴収しました。これに対し、天保の改革を行った水野忠邦は、物価上昇の原因が株仲間の独占にあると批判し、解散を命じるという全く逆の政策をとりました。この違いは入試でも非常によく問われるポイントです。
問9	答え 4 全国の物資が蔵屋敷に集まり、そこから江戸などの大消費地へ海上交通などを用いて運ばれた。	大坂は諸藩の蔵屋敷が立ち並ぶ物流の要所であり、全国から集まった米や特産品は商人を通じて江戸などの大都市へ供給されました。出島は長崎、化政文化は主に江戸を中心とした文化であり、日米和親条約による開港は大坂の「天下の台所」としての全盛期より後の出来事です。
問10	答え 1 肥料となるニシンのメ粕（しめかす）	北前船は北海道から昆布やニシンを運びました。特にニシンを加工した「メ粕」は、綿花などの商品作物を栽培するための有力な肥料として西日本を中心に広く普及し、当時の農業の発展を支える重要な物資となりました。
問11	答え 3 物価を下げるために、問屋商人の組織である株仲間の解散を命じた	天保の改革では、都市部で上昇し続ける物価を抑制することが大きな課題でした。水野忠邦は、問屋商人の独占組織である株仲間が流通を支配し、価格を吊り上げていると考え、1841年にその解散を命じました。しかし、流通の混乱を招いたため、この政策は十分な成果を上げられませんでした。なお、参勤交代の緩和は幕末の文久の改革、生類憐みの令は徳川綱吉によるものです。
問12	答え 2 有事の際に敵の侵入を遅らせるとともに、身分制度に基づいた統治を円滑に行い、都市の防衛力を高めるため	城下町の構造には、軍事と政治の双方が深く関わっています。堀は物理的に敵の進軍を妨げる役割を果たし、身分ごとに居住地を分けることは、いざという時の命令系統の維持や、階級による役割分担を明確にすることを目的としていました。このような都市計画は、大名による領国支配を安定させるための基盤となりました。

- 問1 享保の改革で行われた「上げ米」の制は、大名に重い負担を課す一方で、大名側にも一定の利点がある仕組みとなっていました。その仕組みの背景として正しい説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 米を納める代わりに、武士の身分を捨てて商売を始めることを許可し、大名家が抱える家臣の人数を削減させた。 | 2. 米を納める代わりに、江戸城の修築や河川の改修などの「手伝普請（公共事業）」の義務をすべて免除した。 | 3. 米を納める代わりに、大名が最も多額の費用を費やしていた参勤交代の江戸滞在期間を半分に減らし、支出を抑えさせた。 | 4. 米を納める代わりに、大名が自身の領地で独自の通貨を発行することを許可し、領国内の経済を活性化させた。 |
|--|--|--|---|
- 問2 江戸時代の農村における生活の変化について述べた文として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。なお、当時の資料には、農民が菜種を売って肥料代を捻出し、日常的の買い物を貨幣で行うようになった状況が記されているものとします。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 農民は全ての農具や肥料を自給することを義務付けられ、市場での売買は禁止されていた。 | 2. 新田開発が停滞したため、農民は農作業を放棄して都市へ流入し、農村の商業化は衰退した。 | 3. 幕府が米以外の栽培を厳しく制限したため、農村では貨幣が一切使われず物々交換が中心となった。 | 4. 貨幣経済が農村に浸透し、自給自足の生活から商品作物を売って必要な品を買う生活へと変化した。 |
|--|---|--|--|
- 問3 1600年に関ヶ原の戦いで勝利を収め、その3年後の1603年に朝廷から征夷大將軍に任命されたことで、江戸に幕府を開き全国支配の体制を確立した人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 源頼朝 | 2. 織田信長 | 3. 徳川家康 | 4. 豊臣秀吉 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問4 江戸時代、東北地方の酒田などの港から日本海を通り、敦賀で荷卸しして馬や琵琶湖の船に積み替えて大阪へ運ぶ経路に代わり、河村瑞賢によって整備された「西まわり航路」が広く利用されるようになった最大の理由として正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 太平洋側を北上して江戸へ向かう「東まわり航路」に比べ、常に追い風を利用できるため航海日数が大幅に短縮されたから。 | 2. 鎖国政策の影響により日本海側の海外貿易が制限されたため、国内向けの物資輸送に特化した大型船が導入されたから。 | 3. 幕府が参勤交代の経路として指定したことで、各地の港に宿場町が整備され、陸路よりも安全に移動できるようになったから。 | 4. 下関を経由して瀬戸内海を通ることで、積み替えの手間や費用を省き、大量の物資を安く運べるようになったから。 |
|---|---|--|---|
- 問5 徳川家康が朱印船貿易を奨励した目的や、その結果として東南アジア各地に見られた状況についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 幕府が貿易の利益を確保し外交権を握ることを目的とし、アユタヤなどに日本町が形成された。 | 2. 倭寇の活動を鎮めることを目的とし、中国の明との間で合札を用いた正式な国交を回復した。 | 3. 鎖国を完成させることを目的とし、渡航先をオランダの拠点があるバタビアに限定した。 | 4. キリスト教の布教を全国に広めることを目的とし、長崎や平戸が最大の貿易拠点となった。 |
|--|---|---|--|
- 問6 江戸時代中期、杉田玄白や前野良沢らがオランダ語の医学書『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、1774年に出版した書物の名称として正しいものを選びなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 蘭学事始 | 2. 日本永代蔵 | 3. 解体新書 | 4. 古事記伝 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問7 江戸時代の貨幣政策に関する次の説明文の空欄にあてはまる内容の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「1714年に発行された正徳小判は、1600年当時の慶長小判と同じ84.3%という高い金の含有率を持っていた。このように（X）ことは、（Y）」 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. X：貨幣の質を下げる Y：金銀の海外流出を食い止め、国内の備蓄を増やす | 2. X：貨幣の質を高める Y：貨幣の価値を安定させ、物価の上昇を抑える | 3. X：貨幣の質を下げる Y：貨幣の流通量を増やし、景気を刺激する | 4. X：貨幣の質を高める Y：幕府が改鑄による差益を得て、財政を潤す |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 かつての豊後国（現在の大分県）のように、複数の藩の領地が複雑に入り混じっている地域において、江戸幕府が特定の場所に「直轄地」を設けて代官を派遣した目的や仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 幕府が直接支配を行うことで、地域の重要拠点を確保し、各大名への監視や統制を強めるため | 2. それぞれの藩が自由に海外貿易を行えるよう、幕府が特区として認めた場所にするため | 3. 守護や地頭を各地域に配置し、鎌倉時代以来の伝統的な地方統治を復活させるため | 4. 土地の管理をすべて有力な農民に委ね、幕府が一切の介入をしない自治組織を作るため |
|---|--|--|--|
- 問9 江戸時代中期から後期にかけての政治や社会の動きについて述べた以下の出来事のうち、時系列で並べた際に最も新しい時期に起こった事象を選択してください。 (2018年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 老中の松平定信が、朱子学以外の学問を禁じるなど武士の規律を正す改革を行った。 | 2. 対馬藩の宗氏を通じて朝鮮との国交を回復し、將軍の代わり目ごとに通信使が来日した。 | 3. 幕府の役人であった大塩平八郎が、飢饉に苦しむ人々を救うために大坂で拳兵した。 | 4. 老中の田沼意次が、商人の組織である株仲間への公認など積極的な経済政策を進めた。 |
|---|---|---|--|
- 問10 江戸時代の農民支配に関する記述として、大規模なききんの影響と幕府の対応の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ききんによる生活苦から百姓一揆が増加したため、幕府は農民の都市への流出を防ぐために都市への出かせぎ制限を行った。 | 2. ききんによる農村の荒廃を防ぐため、幕府は日本人の出入国を全面的に禁止し、鎖国体制をさらに強化した。 | 3. ききんによる食料不足を解消するため、幕府は開港を行い、外国から安価な穀物を輸入することを奨励した。 | 4. ききんの影響で物価が上昇したため、幕府は農民に対して商人の独占組織である株仲間へ加入することを推奨した。 |
|---|--|--|---|
- 問11 江戸時代の風景画である『富嶽三十六景』について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 「ベロ藍」と呼ばれる輸入された顔料を使い、海や空を鮮やかに表現した。 | 2. 幕府の御用絵師が、大名や公家のために城の障壁画として制作した。 | 3. 墨の濃淡のみを用いる水墨画の手法で、自然の厳しさを宗教的に描いた。 | 4. 歌舞伎役者の表情を誇張して描き、芝居小屋の宣伝のために配布された。 |
|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問12 19世紀に入り、ロシアなどの欧米列強が日本近海に現れるようになると、江戸幕府は北方警備を強化するために蝦夷地を直轄領としました。この時期、樺太（サハリン）に派遣され、そこが島であることを確認した人物は誰ですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 間宮林蔵 | 2. 伊能忠敬 | 3. 近藤重蔵 | 4. 最上徳内 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 米を納める代わりに、大名が最も多額の費用を費やしていた参勤交代の江戸滞在期間を半分に減らし、支出を抑えさせた。	幕府は大名から一方的に米を徴収するのではなく、大名にとって最大の経済的負担であった参勤交代の義務を緩和（江戸滞在期間の半減）するという「参勤交代の負担軽減」を見返りとして提示しました。これにより、大名は江戸での滞在経費を節約することが可能になりました。幕府は米を確保し、大名は江戸での出費を抑えるという、財政難の中での一時的な妥協案としての性格を持っていました。
問2	答え 4 貨幣経済が農村に浸透し、自給自足の生活から商品作物を売って必要な品を買う生活へと変化した。	江戸時代、農村では菜種や綿などの商品作物を栽培し、それらを売って得た貨幣（銭）で肥料や日用品を購入する「農村の商業化」が進みました。背景には、都市の人口増加に伴う油（菜種が原料）や衣料品の需要拡大があります。これにより、農村はそれまでの自給自足的な形態から、貨幣経済の仕組みに組み込まれた形態へと大きく変貌を遂げました。
問3	答え 3 徳川家康	豊臣秀吉の死後、豊臣氏の家臣たちの間で対立が深まりました。石田三成らを中心とする西軍を関ヶ原の戦いで破った徳川家康は、1603年に武士の最高位である征夷大将軍となり、江戸幕府を開きました。これにより、中世から近世へと大きく時代が動くことになりました。
問4	答え 4 下関を経由して瀬戸内海を通ることで、積み替えの手間や費用を省き、大量の物資を安く運べるようになったから。	従来のルートでは、敦賀から琵琶湖を経て大阪へ運ぶ際に、船から陸路（馬）、さらに小型船へと何度も荷物を積み替える必要があり、多大な労力とコストがかかっていました。河村瑞賢が整備した西まわり航路は、酒田から日本海を下り、下関を経由して瀬戸内海を通ることで、大阪まで一度も荷を降ろさずに船だけで直行できるようになり、輸送効率が飛躍的に向上しました。
問5	答え 1 幕府が貿易の利益を確保し外交権を握ることを目的とし、アユタヤなどに日本町が形成された。	徳川家康は、海外の富を取り込み幕府の財政基盤を固めるために朱印船貿易を推進しました。この貿易により、商人だけでなく多くの日本人が東南アジアへ渡り、タイのアユタヤをはじめとする各地に「日本町」と呼ばれる居住地がつくられるほど活発な交流が行われました。
問6	答え 3 解体新書	杉田玄白や前野良沢は、人体解剖図が掲載された西洋の医学書を苦勞して翻訳し、この書物を完成させました。これをきっかけに、オランダ語を通じて西洋の学問を学ぶ「蘭学」が日本で急速に発展することとなりました。
問7	答え 2 X：貨幣の質を高める Y：貨幣の価値を安定させ、物価の上昇を抑える	新井白石による貨幣改革は、それ以前の「貨幣の質を落として幕府の利益を出す」方針から転換したものでした。1600年当時の水準まで金の割合を回復させた「質の良い小判」を流通させることで、上がり続けていた物価を抑制しようとした。しかし、流通する貨幣の総量が減少したため、のちに経済の停滞を招く側面もありました。
問8	答え 1 幕府が直接支配を行うことで、地域の重要拠点を確保し、各大名への監視や統制を強めるため	江戸幕府は、地方の大名がひしめき合う地域や交通・軍事の要所に直轄地を置きました。これにより、幕府から派遣された代官が直接支配を行い、周辺の藩に対する政治的な影響力や監視を維持する狙いがありました。藩が統治する「藩領」とは異なり、幕府の強力な経済基盤および統治能力を示す象徴的な役割も果たしていました。
問9	答え 3 幕府の役人であった大塩平八郎が、飢饉に苦しむ人々を救うために大坂で挙兵した。	江戸時代の外交と政治の推移をたどると、まず江戸初期に朝鮮との国交回復が行われました。18世紀後半には田沼意次が重商主義政策を推進し、その後の18世紀末に松平定信が寛政の改革によって農村の復興や思想統制を図りました。1837年に発生した大塩平八郎の乱は、さらに後の天保の飢饉の最中に起こった出来事であり、幕府の元役人が反旗を翻したことで幕政に大きな動揺を与えました。
問10	答え 1 ききんによる生活苦から百姓一揆が増加したため、幕府は農民の都市への流出を防ぐために都市への出かせぎ制限を行った。	天明のききんや天保のききんといった大規模なききんが発生すると、農村では餓死者が続出し、年貢の減免などを求める百姓一揆が激化しました。多くの農民が耕作を放棄して江戸などの都市へ流れ込んだため、幕府は農村の荒廃を食い止めるために「旧里帰農令」や「人返しの方」を出し、農民を村に留まらせようとした。
問11	答え 1 「ベロ藍」と呼ばれる輸入された顔料を使い、海や空を鮮やかに表現した。	葛飾北斎の『富嶽三十六景』は、当時普及し始めた安価な化学顔料である「ベロ藍」を効果的に使用している点が特徴です。江戸時代後半には交通網が整備され、庶民の間で旅や名所への関心が高まったため、このような風景画が木版画として大量生産され、広く流通しました。水墨画は室町時代の雪舟などの特徴であり、障壁画は狩野派、役者の誇張表現は東洲斎写楽などの特徴です。
問12	答え 1 間宮林蔵	18世紀末から19世紀初めにかけて、ロシアの南下政策などに対抗するため、幕府は蝦夷地を直轄地にして直接支配に乗り出しました。間宮林蔵は幕府の命を受けて樺太とその対岸を調査し、樺太が島であることを突き止めました。この成果は、樺太と大陸の間の海峡が「間宮海峡」と呼ばれる由来にもなっています。伊能忠敬は日本全国の測量を行った人物ですが、樺太の調査を完遂したのは間宮林蔵です。

- 問1 18世紀後半、老中の松平定信が行った寛政の改革では、天明のききんの教訓から、凶作などの非常事態に備えて諸藩や自治体に米を貯蔵させました。この政策を何といいますか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 上知令 2. 株仲間解散 3. 棄捐令 4. 囲米
- 問2 江戸時代の天保の改革において、老中の水野忠邦が実施した政策についての説明です。水野は、都市部での物価高騰の原因が、特定の商人グループによる流通の独占にあると考え、幕府が公認していた商人の組織を解散させ、流通を自由にする事で物価を下げようとした。このとき解散を命じられた、営業の独占権を持つ商人の組織を何といいますか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 株仲間 2. 問屋制家内工業 3. 座 4. 五人組
- 問3 1549年のザビエルの来航から始まり、1600年のウィリアム・アダムスの来航、1641年のオランダ商館の出島移転に伴う「オランダ風説書」の提出開始など、日本の対外関係は変化していきました。その後、1792年にロシアから根室に来航し、通商を求めた人物を次の中から選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. ハリス 2. ペリー 3. シドッチ 4. ラックスマン
- 問4 寛政の改革が行われた時代背景と、その方針について述べた文として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 天明の飢饉による社会の混乱を抑えるため、徳川吉宗の政治を模範として質素倹約を強制した。 2. ペリーの来航による対外危機を乗り切るため、軍制改革を中心とした西洋化を推し進めた。 3. 足軽出身の豊臣秀吉による兵農分離を強化するため、刀狩りを行って農民の武装を解除した。 4. 大塩平八郎の乱による幕府への不信感を払拭するため、株仲間の解散を命じて物価を下げようとした。
- 問5 江戸時代中期以降の農村では、それまでの自給自足に近い生活から、市場経済と深く関わる生活へと変化しました。ある当時の記録には、百姓が菜種などの作物を栽培して売り、その代金で肥料を購入したり、日々の買い物で金で済ませたりする様子が記されています。このような、農村において売ることを目的とした作物を栽培し、必要な品を貨幣で購入するようになった変化を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 農村の商業化 3. 割地償行 4. 問屋制家内工業
- 問6 江戸時代に整備された海上交通路である「西まわり航路」について、出発地から目的地までの経路を説明したもののとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。 2. 九州の長崎を出発し、対馬海峡から日本海に入り、北陸地方の各港を経由して大阪へ至る経路。 3. 出羽国の酒田を出発し、敦賀で一度荷物を下ろして陸路を通り、琵琶湖の小型船に積み替えて大阪へ至る経路。 4. 日本海沿岸の酒田を出発し、津軽海峡を越えて太平洋側を南下し、江戸を経由して大阪へ至る経路。
- 問7 江戸時代の交通や流通の仕組みについて、日本海沿岸に位置する新潟が、物流の中継地点として大きく発展した背景や理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 西廻り航路の整備により、大坂と結ぶ海路の寄港地となったため 2. 朱印船貿易の制限に伴い、海外向けの輸出入を行う唯一の公認港となったため 3. 五街道の一つである北国街道の宿場町として、陸上交通の要となったため 4. 東廻り航路の終着点として、江戸へ直接物資を送る拠点となったため
- 問8 フランス革命直前の社会構造において、第三身分と呼ばれた平民たちが、特権階級である聖職者や貴族に対して抱いていた不満の内容として最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 国王が聖職者と貴族の特権をすべて廃止しようとしたため、平民が受けていた伝統的な保護が失われたこと。 2. 人口の多くを占める平民が、免税などの特権を持つ聖職者や貴族に代わって、国家の財政を支える重い税や労役を負担していたこと。 3. 平民がすべての政治的役職を独占していたものの、聖職者から精神的な抑圧を受けていたこと。 4. 聖職者や貴族にのみ重い税が課されており、彼らの不満が経済の混乱を招いて平民の生活を圧迫していたこと。
- 問9 日本の歴史における農村の変遷について述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。平安時代から江戸時代末期までの流れを考慮して答えなさい。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 平安時代、地方の有力な農民の中には、自らの土地を守るために武装して武士団を形成する者が現れた。 2. 江戸時代末期、開国による物価高騰や凶作などの社会不安を背景に、農民たちが格差の是正を求める「世直し一揆」が頻発した。 3. 中世の農村では、水車や牛馬耕の利用が広がり、農業の生産性が高まったことで農民の自立が進んだ。 4. 戦国時代から江戸時代にかけて、農民は自由に土地を離れることが認められ、都市部への移住が奨励された。
- 問10 18世紀後半、当時の社会情勢を風刺した「白河の清きに魚の住みがねて もとの濁りの田沼恋しき」という狂歌が流行しました。この歌が詠まれた背景について述べた文として、最も適切なものを次から選んでください。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 松平定信による寛政の改革が極めて厳格であったため、人々がその政治を否定的に受け止めたこと 2. 寛政の改革によって商業が活性化し、田沼意次の時代よりも景気が良くなったこと 3. 白河藩の特産品である魚の流通が滞り、江戸の町で深刻な食糧不足が発生したこと 4. 田沼意次による賄賂政治が批判され、松平定信による清廉な政治が庶民に熱烈に歓迎されたこと
- 問11 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 2. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 3. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 4. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。
- 問12 1789年にフランスで革命が勃発し、民衆が絶対王政に反対して立ち上がった際、国民議会によって採択された宣言の名称として最も適切なものを選択してください。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 人権宣言 2. 独立宣言 3. 権利の章典 4. マグナ・カルタ
- 問13 江戸時代の外交において、幕府が長崎の出島でオランダとの貿易を継続させた際、その許可の前提となった条件について述べたもののとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 対馬を通じた朝鮮との貿易にもオランダが協力すること 2. オランダ人が江戸に居住し、日本の法律に従うこと 3. キリスト教の布教を一切行わないこと 4. 幕府が指定したキリスト教の教典のみを日本に持ち込むこと

答え合わせ・解説

問1	答え 4 囲米	寛政の改革を主導した松平定信は、天明のききんによる深刻な食糧不足や社会不安を経験したことから、飢饉対策を重視しました。各地の諸藩に対して、石高に応じて一定量の米を蓄えさせる「囲米（かこいまい）」の制を設けたほか、江戸の町入用を節約させた金の7割を積み立てさせる「七分積金」なども実施し、民衆救済の財源を確保しようとしてしました。
問2	答え 1 株仲間	江戸時代、幕府や藩から営業の独占権を認められていた商人の組織を株仲間といいます。天保の改革を主導した水野忠邦は、物価高騰を抑えるために、この独占を排除して流通の活性化を図りました。しかし、実際には長年築かれてきた流通システムが混乱し、逆効果になったため、後に再び結成が認められることとなりました。
問3	答え 4 ラックスマン	18世紀末になると、それまでの鎖国体制を揺るがす出来事が起こり始めます。1792年、ロシアの使節であるラックスマンが伊勢の漂流民である大黒屋光太夫を伴って根室に来航し、通商を求めました。これは幕府にとって北方警備を意識させる大きな契機となり、その後の外交政策に影響を与えました。なお、シドッチは1708年に屋久島に潜入した宣教師です。
問4	答え 1 天明の飢饉による社会の混乱を収めるため、徳川吉宗の政治を模範として質素倹約を強制した。	松平定信が老中に就任した直前には「天明の飢饉」が発生しており、農村の荒廃や打ちこわしの頻発など、社会が極めて不安定な状態にありました。定信は、幕府権威の回復を目指し、祖父である徳川吉宗が行った「享保の改革」を理想に掲げ、武士だけでなく庶民に対しても極めて厳しい質素倹約を求めました。なお、株仲間の解散は後の水野忠邦による「天保の改革」の内容です。
問5	答え 2 農村の商業化	江戸時代、都市の発展とともに農作物の需要が高まると、農村では米以外の綿、菜種、藍などの「商品作物」の栽培が盛んになりました。これにより、農民は作物を売って得た貨幣で、干鰯（ほしか）などの高価な肥料（金肥）や日用品を購入するようになり、自給自足的な生活から貨幣経済に依存する生活へと移行しました。この現象を農村の商業化といいます。
問6	答え 1 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。	西まわり航路は、東北地方（山形県）の酒田を起点とし、日本海沿岸を西へ進んで本州西端の下関を回り、瀬戸内海を通して経済の中心地である大阪へと結ぶルートです。この航路の確立により、東北や北陸の年貢米などが大量に「天下の台所」と呼ばれた大阪へ運び込まれるようになりました。
問7	答え 1 西廻り航路の整備により、大坂と結ぶ海路の寄港地となったため	新潟が発展した最大の要因は、17世紀後半に西廻り航路が確立されたことにあります。この海路によって、東北や北陸の米などが安全かつ大量に大坂へ運ばれるようになり、新潟はそのネットワークにおける重要な寄港地としての役割を担いました。他の選択肢について、東廻り航路は太平洋側を通して江戸へ向かうルートであり、宿場町としての役割よりも港町としての役割が新潟の発展に強く寄与しています。また、海外貿易の制限に関連して発展したのは主に長崎です。
問8	答え 2 人口の多くを占める平民が、免税などの特権を持つ聖職者や貴族に代わって、国家の財政を支える重い税や労役を負担していたこと。	当時のフランス社会は、特権階級である聖職者や貴族が富と権力を独占する一方で、彼らは免税などの権利に守られていました。国家の財政赤字を補うための負担は、参政権を持たない第三身分（平民）に集中しており、この構造的な不平等がフランス革命の直接的な原因となりました。風刺画などで「平民が二人の特権階級を背負う姿」として描かれるのは、この一方的な負担の重さを象徴しています。
問9	答え 4 戦国時代から江戸時代にかけて、農民は自由に土地を離れることが認められ、都市部への移住が奨励された。	近世の幕藩体制下では、年貢の確保を最優先とするため、農民に対して「田畑勝手作の禁」や「田畑永代売買禁止令」などが出され、土地を離れることや職業を変えることは厳しく制限されていました。一方、幕末には社会の行き詰まりから、新しい世の中を求める「世直し一揆」が各地で起こり、幕藩体制の崩壊を早める一因となりました。
問10	答え 1 松平定信による寛政の改革が極めて厳格であったため、人々がその政治を否定的に受け止めたこと	「白河」は寛政の改革を主導した白河藩主の松平定信を指し、「清き」は彼の厳格で清廉な政治姿勢を意味しています。一方、「田沼」は前時代の田沼意次を指し、「濁り」は賄賂などが横行した政治を指しています。この狂歌は、あまりに厳しすぎる松平定信の改革によって息苦しさを感じた人々が、汚職はあったものの規制が緩やかで活気のあった田沼時代を懐かしみ、改革を批判的に捉えていた状況を表現しています。
問11	答え 3 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問12	答え 1 人権宣言	フランス革命の初期、1789年に国民議会が採択したもので、正式名称は「人間および市民の権利の宣言」です。アメリカ独立宣言などの影響を受け、啓蒙思想に基づいた近代市民社会の基本原則を確立しました。なお、権利の章典はイギリスの名誉革命の際に、独立宣言はアメリカ独立戦争の際に発表されたものです。
問13	答え 3 キリスト教の布教を一切行わないこと	幕府がオランダに対して貿易を許可した決定的な要因は、宗教（キリスト教）と商業の分離です。幕府は1630年代に段階的に鎖国体制を築く中で、日本国民への布教の恐れがない国を選別しました。オランダは幕府のこの方針に従い、キリスト教の布教に関与しないことを誓ったため、唯一のヨーロッパの窓口として認められました。

- 問1 18世紀中頃には蒸気で走る自動車が発明されるなど、新たな動力を活用する試みが始まっていました。その後、ワットが蒸気機関を改良したことが社会に与えた影響について、その背景と経緯を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 蒸気機関は主に軍事目的に限定して利用されたため、一般市民が消費する綿織物などの生産には電力が普及するまで大きな変化はなかった。 | 2. 蒸気機関が普及したことで、ルネサンス以来の伝統的な職人による手作業が再評価され、工場制手工業が主流となった。 | 3. ワットによる蒸気機関の改良は、あくまで自動車などの輸送手段の発展に留まり、工業生産の仕組みそのものを変えるには至らなかった。 | 4. 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。 |
|--|---|---|---|
- 問2 18世紀後半、日本では松平定信による寛政の改革が行われていました。この時期とほぼ同時期に、イギリス本国の統治下にあった北アメリカ東部の植民地の人々が、自由と平等を求めて発表した宣言はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------|---------------------|-------------|
| 1. フランシスコ・ザビエルによるキリスト教伝来 | 2. 国際連盟の創設 | 3. バスコ・ダ・ガマのインド航路開拓 | 4. アメリカ独立宣言 |
|--------------------------|------------|---------------------|-------------|
- 問3 江戸時代は、それ以前の戦国時代などと比較して「大きな戦乱のない世」と評されます。約260年という長期間にわたって平和が保たれた背景として、幕府が行った統治の仕組みについて説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した | 2. 民衆が自ら政治を行う権利を全面的に認め、合議制による全国統治を展開した | 3. 実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮を認め、社会の活性化を図った | 4. 武力による領土拡大を奨励し、諸大名を競わせることで勢力の均衡を保った |
|---|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 葛飾北斎の代表作に、手前に大きく立ち上がる激しい波を描き、その波間に遠くの富士山を小さく配置した、非常にダイナミックな構図の作品があります。この作品を含む、富士山を主題とした一連の風景画シリーズについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 歌川広重が描いた、日本橋から京都までの宿場町を題材とした「東海道五十三次」である。 | 2. 葛飾北斎が描いた、当時の富士山信仰や旅行ブームを背景とする「富嶽三十六景」である。 | 3. 菱川師宣が確立した、女性の立ち姿を描く「見返り美人図」のシリーズである。 | 4. 狩野永徳が桃山時代の城郭を飾るために描いた、壮大な「唐獅子図屏風」である。 |
|--|--|---|--|
- 問5 江戸時代の幕府は、鎖国体制を築く一方で特定の藩などを通じて外国との交渉を継続していました。このうち、地理的に朝鮮半島に近い位置にあり、宗氏が藩主として朝鮮との外交や貿易の実務を担っていた藩はどこですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 土佐藩 | 2. 長州藩 | 3. 対馬藩 | 4. 薩摩藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 江戸時代に築かれた城下町の構造や役割について、当時の領主（大名）のねらいをふまえて説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 農村部から強制的に農民を移住させ、都市部での大規模な新田開発を直接管理すること。 | 2. 身分制度を廃止して自由な商取引を認め、外国からの文化や技術を積極的に取り入れること。 | 3. 街道を通るすべての旅人に宿泊を義務付け、通行税を徴収することで藩の財政を潤すこと。 | 4. 軍事的な防御力を高めるとともに、商工業者を集めて経済を活性化させ、領地支配を安定させること。 |
|---|---|--|---|
- 問7 江戸幕府による朝廷や公家への統制の仕組みについて説明した文として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 老中を京都に常駐させて天皇の政治参加を促し、幕府と朝廷による合議制を確立した。 | 2. 大阪城代を設置して西国大名との結びつきを断たせ、朝廷の裁判業務を代行させた。 | 3. 六波羅探題を設置して承久の乱の後の朝廷を厳しく管理し、公家の所領をすべて没収した。 | 4. 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。 |
|--|---|--|---|
- 問8 16世紀に日本へキリスト教が伝来した経緯と、その初期の動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 1. ルイス・フロイスが長崎に来日し、プロテスタントの教えを広めた。 | 2. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。 | 3. マルティン・ルターが日本を訪れ、天皇にキリスト教の公認を求めた。 | 4. 徳川家康の招きにより、イタリアの宣教師がローマ教皇の親書を携えて来日した。 |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
- 問9 1600年にウィリアム・アダムスが日本に漂着し、のちに徳川家康の外交顧問となった時期から、江戸幕府は対外政策を徐々に強化しました。この過程で、長崎を直轄地として管理し、貿易の統制やキリスト教の布教防止、さらには日本人の海外への渡航禁止などを実施した幕府の役職を選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 江戸町奉行 | 2. 松前奉行 | 3. 京都所司代 | 4. 長崎奉行 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問10 17世紀から19世紀後半にかけての社会情勢を分析すると、抵抗運動の発生件数は18世紀後半や19世紀前半に急激に増加し、年間100件を超えることもありました。特に19世紀前半、天保の飢饉などによる生活の苦しさから、農民たちが領主に対して年貢の軽減や役人の不正正しを求めて集団で行動した出来事を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|---------|------------|
| 1. 打ちこわし | 2. 土一揆 | 3. 百姓一揆 | 4. ええじゃないか |
|----------|--------|---------|------------|
- 問11 1600年代の出来事を整理した年表において、1635年の「日本人の海外渡航・帰国の禁止」や、1639年の「ポルトガル船の来航禁止」といった対外政策の強化を行い、鎖国体制を完成させたとされる人物は誰か。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 豊臣秀吉 | 3. 徳川慶喜 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 徳川吉宗による享保の改革期において、幕府の年貢収納高が右肩上がり増加している一方で、都市部での米価は大幅に下落する傾向にありました。このような状況が幕府や武士に与えた影響と、それに対してとられた政策の背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 定免法の導入により年貢収入が安定しなくなったため、幕府は米の代わりに商品作物の栽培を奨励して農民の収入を増やそうとした。 | 2. 米の供給過剰によって米価が下がること、米を売って生活費を得ていた武士が困窮したため、幕府は米価を上げる目的で市場の整備や調整を行った。 | 3. 貨幣の質を落としたことで物価全体が上昇したため、米の価値が相対的に低くなり、幕府は質の高い貨幣に戻すことで物価の安定を図った。 | 4. 米の不作によって価格が高騰し、都市部で打ちこわしが頻発したため、幕府は米の流通を制限して価格を無理やり引き下げようとした。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。	ワットによる蒸気機関の改良は、従来の自然の力（水力など）に頼っていた生産活動を劇的に変えました。動力源を工場内に設置できるようになったことで、川沿いなどの立地制約から解放され、都市部などでの効率的な工業生産が可能になりました。この技術革新は綿織物工業における爆発的な生産力の増大を招き、社会構造そのものを変革する産業革命へとつながりました。
問2	答え 4 アメリカ独立宣言	1776年に発表されたアメリカ独立宣言は、日本では江戸時代の寛政の改革（1787年～）と同時期の出来事です。北アメリカ東部の13植民地がイギリスからの独立を表明し、近代民主政治の基本原則を打ち立てました。選択肢にあるインド航路の開拓やザビエルの来日は、日本の室町時代から戦国時代にかけての15～16世紀の出来事であり、国際連盟は20世紀の第一次世界大戦後の出来事です。
問3	答え 1 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した	徳川家康が江戸幕府を開いて以降、幕府は「武家諸法度」によって大名を統制し、厳しい身分制度を敷くことで社会を安定させました。このように幕府と各藩が土地と民衆を二重に支配する「幕藩体制」が構築されたことで、中世のような武力による勢力争いが鎮まり、長期間にわたる平和な社会が実現しました。
問4	答え 2 葛飾北斎が描いた、当時の富士山信仰や旅行ブームを背景とする「富嶽三十六景」である。	「富嶽三十六景」は、当時の庶民の間で盛んだった「富士講（富士山への参詣を目的とした集まり）」や物見遊山の流行を捉えた作品群です。特に「神奈川沖浪裏」と呼ばれる作品は、静止している富士山と動的な大波を対比させた大胆な遠近法が用いられており、西洋の芸術家たちに「ジャポニスム」という日本文化への強い関心を抱かせる要因となりました。
問5	答え 3 対馬藩	豊臣秀吉による朝鮮出兵で悪化した関係を修復するため、対馬（現在の長崎県）を拠点とする宗氏が仲介となり、江戸時代を通じて朝鮮との間に正式な国交が保たれました。対馬藩は、釜山に設置された倭館を拠点に貿易を行い、将軍の代替わりなどの際には朝鮮通信使の来日を案内する役割も果たしました。
問6	答え 4 軍事的な防御力を高めるとともに、商工業者を集めて経済を活性化させ、領地支配を安定させること。	城下町は、単なる居住区ではなく、大名が領地を効率的に統治するための仕組みです。城に近い場所に武士を配置して守りを固める一方で、商工業者を呼び寄せることで城下での物資の流通や経済活動を盛んにし、藩の経済基盤を強固にするねらいがありました。農民は原則として農村に住み、年貢を納める役割を担っていたため、都市への強制移住は行われませんでした。
問7	答え 4 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。	江戸幕府は徳川家康の時代から朝廷の政治介入を制限する方針をとり、京都に京都所司代を置いて天皇や公家の動向を厳しく監視しました。また、京都所司代は京都の行政や治安維持、さらには西国大名が朝廷と接触しないよう目を光らせる役割も果たしていました。大阪城代は大阪城の守備、六波羅探題は鎌倉時代の役職であり、老中は江戸で幕政を統括する最高責任者です。
問8	答え 2 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。	1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したことで、日本に初めてキリスト教が伝わりました。当時、カトリック教会はヨーロッパでの宗教改革に対抗するため、イエズス会などの組織を通じてアジアや日本への布教活動を積極的に進めていました。その過程で、九州のキリシタン大名によって天正遣欧少年使節がローマ教皇のもとへ派遣されるなどの交流も生まれました。
問9	答え 4 長崎奉行	徳川家康は当初、ウィリアム・アダムス（三浦按針）らを重用して海外貿易を推奨していましたが、次第にキリスト教の浸透が幕府の支配体制を揺るがすことを恐れるようになりました。そこで、幕府の直轄地である長崎に「長崎奉行」を置き、貿易の利益を独占するとともに、日本人の海外渡航や帰国を厳禁する「鎖国」体制を整えていきました。
問10	答え 3 百姓一揆	江戸時代、生活が困窮した農民が領主に対して集団で交渉や抗議を行うことを百姓一揆と呼びます。1603年から幕末までの統計を見ると、17世紀は比較的に少なかったものの、天明の飢饉（18世紀後半）や天保の飢饉（19世紀前半）といった大規模な飢饉が発生した時期に発生件数が突出して多くなる傾向があります。都市部で米の買い占めなどに対して行われる「打ちこわし」とは、発生の場所や形態が異なります。
問11	答え 4 徳川家光	徳川家光は、キリスト教の禁止を徹底し、幕府が貿易を完全に管理することを目指しました。1635年に日本人の海外渡航と帰国を禁止し、1639年には島原・天草一揆の影響もあってポルトガル船の来航を禁止したことで、日本は中国（明・清）とオランダのみと限られた窓口で交流する鎖国体制へと入りました。
問12	答え 2 米の供給過剰によって米価が下がると、米を売って生活費を得ていた武士が困窮したため、幕府は米価を上げる目的で市場の整備や調整を行った。	当時の武士は農民から年貢として徴収した米を市場で換金して生活していたため、米の値段が下がることは実質的な収入の減少を意味しました。享保の改革によって年貢の取れ高は増えましたが、市場に米があふれた（供給過剰）ことで「米安・諸色高（米以外の物価が高い状態）」を招き、武士の財政を圧迫しました。このため、徳川吉宗は米価を引き上げるための市場介入を余儀なくされました。

- 問1 江戸時代後期の19世紀、日本橋を出発点とする街道の宿場町を鮮やかに描き、庶民の旅への憧れをかき立てた風景画のシリーズ『東海道五十三次』。この作品を描いた、安藤広重の名でも知られる浮世絵師は誰か。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 黒田清輝 2. 歌川広重 3. 雪舟 4. 菱川師宣
- 問2 日本の耕地面積の推移をまとめた統計によると、江戸時代が始まったばかりの十六世紀末には約百六十四万町歩であった全国の耕地面積が、十八世紀前半には約二百九十七万町歩へと、約百二十年あまりで二倍近くにまで急増しています。このような変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 奈良時代から続く班田収授法が江戸時代になって厳格に運用され、全ての農民に均等に土地が配られたため 2. 明治政府が土地の所有権を認め、地券を発行することで、農民が自由に土地を売買・開墾できるようになったため 3. 平安時代に出された墾田永年私財法により、開墾した土地を永久に私有することが認められ、意欲が高まったため 4. 幕府や藩が大規模な治水工事や灌漑事業を主導し、農民や町人の力も借りて積極的に耕地を増やしたため
- 問3 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 間宮林蔵 2. 新井白石 3. 伊能忠敬 4. 杉田玄白
- 問4 江戸時代、近畿地方の大阪湾に面した場所に位置する大坂（大阪）は、全国の商品が集まる商業の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。諸大名が大坂に設置し、領地から送った年貢米や特産物を保管・販売するために利用した施設を何といいますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 蔵屋敷 2. 本陣 3. 問屋場 4. 唐人屋敷
- 問5 江戸時代の文化や学問における、人物とその功績の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 葛飾北斎が、『古事記』の研究を通して、日本古来の考え方を明らかにする国学を大成させた。 2. 近松門左衛門が、日本全国を巡り、各地の特産物や地理的特徴をまとめた農政学を確立した。 3. 伊能忠敬が、日本全国を実際に歩いて測量し、精度の高い日本地図を作成した。 4. 本居宣長が、風景画の連作である「富嶽三十六景」を完成させ、浮世絵の新しい境地を開いた。
- 問6 江戸時代初期に九州の島原や天草で発生した大規模な一揆である「島原・天草一揆」が起こった主な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと 2. 室町時代から続いていた勘合貿易が制限され、海外との自由な取引を求める商人が蜂起したこと 3. 豊臣秀吉による刀狩に反発した農民たちが、自衛のために武器の保持を求めて立ち上がったこと 4. 開国を求める外国船の来航が相次ぎ、幕府の鎖国政策に反対する勢力が武力行使に出たこと
- 問7 17世紀、日本との朱印船貿易によって東南アジア各地に日本町が形成された。このうち、東南アジアの略地図においてインドシナ半島の中央部（現在のタイ付近）に位置し、山田長政が王室に仕えて活躍した都市はどこか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. マカオ 2. マニラ 3. ジャカルタ 4. アユタヤ
- 問8 第8代将軍・徳川吉宗が行った「享保の改革」において、幕府の財政を立て直すために採用された、年貢の徴収に関する方針として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 年貢をすべて金納に切り替え、米の価格変動が財政に与える影響を排除した 2. 飢饉対策を優先するため、豊作の年でも年貢の割合を低く抑えるよう命じた 3. 農民の負担を軽減するため、商人の利益に課税する仕組みを優先した 4. 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った
- 問9 江戸時代を「近世」という一つの時代区分として捉える際、その政治的な背景として欠かせない仕組みは何ですか。将軍が全国の土地を把握し、大名にその統治を認める代わりに軍役や忠誠を求める、武家政権による安定した統治システムを指す言葉を答えなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 幕藩体制 2. 版籍奉還 3. 郡県制 4. 封建制度
- 問10 江戸幕府は、農民が田畑を永代にわたって売り買いすることを禁じた「田畑永代売買禁止令」や、米以外の作物を勝手に育てることを制限する「田畑勝手作の禁止」などの法令を相次いで出しました。幕府がこのような厳しい制限を農民に課した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 商工業を奨励して、商人から徴収する税金を財政の新たな柱とするため 2. キリスト教の浸透を防ぐために、村の団結を強めて信仰を監視するため 3. 農民の没落を防ぎ、幕府の主たる収入源である年貢を安定して確保するため 4. 全国の測量を正確に行い、海外との貿易で得た銀を年貢の代わりに納めさせるため
- 問11 18世紀末に、銃や旗を手にした多くの民衆が市街地で激しく戦い、国王による専制政治を打倒した市民革命が起こった国はどこか。この国では、革命後の混乱の中から軍人出身のナポレオンが台頭し、のちに皇帝としてヨーロッパの大部分を勢力下に置いた。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. ポルトガル 2. スペイン 3. ロシア 4. フランス
- 問12 1840年に勃発したアヘン戦争で、清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北したという情報は、当時の日本に大きな衝撃を与えました。この危機感から、薩摩藩や肥前藩などの諸藩が軍備を近代化するために、藩の財政を立て直す手段として強化した制度はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 領地内の全ての商人に自由な商売を認める楽市・楽座 2. 幕府が直接貿易を管理し、諸藩の介入を禁じる鎖国令 3. 凶作に備えて農民に食料を蓄えさせる配給制 4. 藩の特産物を強制的に買い上げて独占的に販売する専売制
- 問13 17世紀末から18世紀半ばにかけての江戸幕府の統計において、幕府領の石高（コメの生産高）が大幅に上昇している時期があります。これは、8代将軍が主導した改革の中で、幕府の財政安定を目指して行われた農地拡大の成果です。この農地拡大に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 「検地」を全国規模でやり直し、隠し田を摘発することで統計上の石高を無理やり引き上げた。 2. 幕府が町人の資金なども利用し、荒れ地や海辺を切り拓いて新たな耕作地を作る「新田開発」を推進した。 3. 長崎貿易での金・銀の流出を抑えるために、農産物の輸出を制限して国内の流通量を増やした。 4. 「備中鍬」などの新しい農具を幕府が全農家に配布し、既存の耕作地の深耕を促すことで生産力を高めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 歌川広重	江戸時代後半の化政文化を代表する浮世絵師です。それまでの浮世絵は美人群像や役者絵が主流でしたが、各地の名所を主役とした「風景画」という新しいジャンルを確立しました。その叙情的な作風は、後にゴッホをはじめとするヨーロッパの印象派の画家たちにも大きな影響を与えました。
問2	答え 4 幕府や藩が大規模な治水工事や灌漑事業を主導し、農民や町人の力も借りて積極的に耕地を増やしたため	江戸時代には高度な土木技術が発達し、大規模な河川の改修や干拓が可能になりました。これにより、一七二〇年ごろまでの約百年間で耕地面積は飛躍的に拡大しました。選択肢にある「墾田永年私財法」は奈良時代、「地租改正」は明治時代の出来事であり、江戸時代の社会状況とは異なります。
問3	答え 3 伊能忠敬	50歳という当時としては高齢で隠居した後、幕府の天文方であった高橋至時に弟子入りし、最新の測量技術を習得しました。当初は自費を投じて蝦夷地の測量を開始しましたが、その技術の高さと熱意が認められたことで、後に幕府の正式な事業として全国を測量することになりました。彼の作成した「大日本沿海輿地全図」は、当時の世界基準に照らしても極めて精度の高いものでした。
問4	答え 1 蔵屋敷	大坂は水上交通の要所に位置しており、全国から多くの物資が運び込まれました。諸大名は、領地で集めた年貢米や特産物を貨幣に換えるため、大坂に「蔵屋敷」と呼ばれる倉庫を兼ねた邸宅を構えました。こうした経済的な重要性から、大坂は日本の台所事情を支える場所という意味で「天下の台所」と称されました。
問5	答え 3 伊能忠敬が、日本全国を実際に歩いて測量し、精度の高い日本地図を作成した。	江戸時代には学問が多角的に発展しました。伊能忠敬は科学的な測量に基づいて精密な日本地図を完成させました。本居宣長は『古事記伝』を著した国学の第一人者であり、葛飾北斎は「富嶽三十六景」などの風景画で知られる浮世絵師です。近松門左衛門は、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本家として活躍しました。
問6	答え 1 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと	島原・天草一揆は、単なる宗教的な対立だけで発生したものではありません。当時の島原藩や天草地方（唐津藩領）では、キリスト教徒に対する激しい拷問を伴う弾圧が行われる一方で、領主たちが農民の生活を顧みず、極めて厳しい年貢（税）の取り立てを強行していました。こうした宗教的・経済的な二重の苦境に追い詰められたことが、大規模な蜂起につながりました。
問7	答え 4 アユタヤ	アユタヤは現在のタイに位置するアユタヤ王朝の首都で、朱印船貿易の時代に最大級の日本町が置かれた。山田長政は、この地でアユタヤ王室の信望を得て、政治や軍事の面で高官として活躍した。選択肢のマニラは現在のフィリピン、ジャカルタは現在のインドネシアに位置する都市である。
問8	答え 4 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った	吉宗の時代は、江戸時代を通じて幕府の年貢収入が非常に高い水準にありました。吉宗は「米将軍」と呼ばれるほど米による財政基盤を重視し、それまでの豊凶に応じて年貢率を決める「検見法」から、一定期間の平均収穫量をもとに年貢率を固定する「定免法」へ転換するなどして、確実な年貢収入を確保し、財政の再建を目指しました。
問9	答え 1 幕藩体制	江戸幕府が確立した「幕藩体制」は、強力な中央政権である幕府と、各地方を治める藩が役割を分担する仕組みです。この制度が整ったことで、それまでの戦乱の時代（中世）から、平和で安定した近世社会へと移行することが可能になりました。
問10	答え 3 農民の没落を防ぎ、幕府の主たる収入源である年貢を安定して確保するため	江戸幕府の財政は、農民が納める米（年貢）に大きく依存していました。もし農民が生活に困窮して土地を手放したり、換金性の高い商品作物の栽培にばかり偏ったりすると、幕府にとって最も重要な収入源である年貢の納入が不安定になる恐れがありました。そのため、農民の経営基盤である土地を維持させ、確実に年貢を徴収し続けることを目的として、一連の農業制限策が実施されました。
問11	答え 4 フランス	1789年に始まったフランス革命を指します。身分制に対する不満から民衆が蜂起し、人権宣言を採択して自由と平等の理念を掲げました。その後、革命の混乱を収拾したナポレオンが皇帝となり、軍事力によってヨーロッパ全土に大きな影響を及ぼしました。
問12	答え 4 藩の特産物を強制的に買い上げて独占的に販売する専売制	アヘン戦争での清の敗北を知った日本の諸藩は、欧米列強に対抗するための軍事力強化を急ぎました。特に薩摩藩や肥前藩は、黒砂糖や磁器などの特産物を藩が安く買い上げ、都市部で高く売る「専売制」を徹底することで財政を立て直しました。こうして蓄えた資金をもとに、鉄製の大砲を作るための反射炉を建設するなど、最新の軍事技術の導入を進めました。
問13	答え 2 幕府が町人の資金なども利用し、荒地地や海辺を切り拓いて新たな耕作地を作る「新田開発」を推進した。	8代将軍の徳川吉宗が行った「享保の改革」では、慢性的な幕府の財政難を解消するため、年貢の増収が最優先課題とされました。その一環として、それまで手付かずだった荒地地や、海辺の干拓、沼地の干上がりなどを利用して耕地を広げる「新田開発」が積極的に奨励されました。この政策により、18世紀前半から幕府領の石高は大きく上昇し、財政再建に大きく貢献しました。備中鍬などの農具の普及は農村自体の生産力向上には寄与しましたが、幕府主導の石高上昇の主な要因は耕地面積そのものの拡大にあります。